



NEWS LETTER

—ウォーター・セキュリティ研究会—

発行：研究会事務局

第3号

2009年11月19日

1. 2009年度第2回研究会開催報告

ウォーター・セキュリティ研究会では、2009年度第2回研究会を、10月30日（金）に行いました。ニュースレター第3号では、この第2回研究会のプログラムとその内容についてお知らせ致します。

◆第2回研究会・概要◆

日時：10月30日（金） 18:00～20:00

場所：立命館大学衣笠キャンパス 洋洋館5階 政策科学共同研究室

出席者：仲上健一（立命館大学政策科学部教授、本研究会代表）

小幡範雄（立命館大学政策科学部教授）

高尾克樹（立命館大学政策科学部教授）

竹濱朝美（東京大学地球持続戦略研究イニシアティブ準教授）

加藤久明（立命館グローバル・イノベーション研究機構ポスドク・フェロー）

濱崎宏則（立命館大学政策科学研究科博士課程後期課程）

以下では、今回の研究会の内容を、プログラムに沿って紹介致します。

2. 第2回研究会の内容

1. 研究報告「気候変動への適応に向けた流域圏システム設計」（仲上）

気候変動が日本の水資源環境に及ぼす影響について、今後の予測に関する最新の知見を紹介しました。また、これらに対する適応策のあり方についてまとめ、個別ではなく流域圏全体での対策が必要であるという主張を共有しました。

2. 研究の進捗状況について（各メンバー）

今年度の研究の進捗状況について、小幡教授からはソウルの清溪川への現地視察の様子、高尾教授からはジャムナ川への現地調査の意向、竹濱教授からは住宅雨水タンクと太陽光パネルに関する実地調査の意向について、ご発言頂きました。後日、各メンバーに進捗状況に関するアンケートを送付致しますので、ご協力下さい。また、各メンバーへの分担金は11月末を目途にお使い下さいますよう、お願い申し上げます。

3. 研究計画について

本年度の今後の計画を下記のように予定、検討しております。

▼2009年12月 琵琶湖環境調査

▼2010年1月28日 国際シンポジウム（中国の研究者を招聘）

▼2010年2月下旬 バングラデシュにてワークショップおよび視察

4. 中国とのシンポジウム

2010年1月28日に、「気候変動による水資源分野の適応策と国際連携」というテーマで、国際シンポジウムを開催します。日中の専門家による個別報告とパネルディスカッションが行われ、水資源分野における気候変動への適応策について議論を交わし、知見を深めます。シンポジウムの概要（予定）は以下の通りです。

◆日時：2010年1月28日（木） 9:20～12:00

◆場所：立命館大学朱雀キャンパス 1階 多目的室

◆プログラム（予定）

1. 基調講演

張坤民（清華大学教授）「気候変動による水資源分野の適応策と国際連携」

2. 個別報告

何青（中国上海華東師範大学河口海岸国家重点実験室副主任教授）

陳英旭（中国浙江大学教授）

福土謙介（東京大学サステイナビリティ学連携研究機構准教授）

中島淳（立命館大学理工学部教授）

3. パネルディスカッション

テーマ「気候変動による水資源環境分野の適応策と日中間連携の可能性」

パネリスト（予定）

何青（中国上海華東師範大学河口海岸国家重点実験室副主任教授）

陳英旭（中国浙江大学教授）

原圭史郎（大阪大学サステイナビリティ・サイエンス研究機構特認講師）

田中教幸（北海道大学大学教授）

コーディネーター：仲上健一（立命館大学政策科学部教授）

5. バングラデシュでのワークショップ計画

2008年度にはバングラデシュの専門家を招いて、日本でワークショップを開催しましたが、本年度はバングラデシュ・ダッカにて行う予定です。2010年2月下旬を予定しております。研究委託先である4名の専門家と、仲上・高尾・福土の3名で、研究報告会を計画中です。詳細が決まり次第、ニュースレターでお知らせ致します。

6. バングラデシュとの委託契約関係

2008年度に引き続き、2009年度もバングラデシュの4名の専門家と研究委託契約を締結致しました。研究委託内容は、下記の通りです。

▼Muhammad M. Rahman（バングラデシュ工科大学教授）……30万円
気候変動のダッカ水資源環境への影響に対する適応策の開発

▼Dr. Islam Ishrat（バングラデシュ工科大学准教授）……30万円

①ダッカにおける湿地管理のための政策アプローチと制度的フレームワークについて、現状と代替案の分析および評価

②ダッカの湿地管理における利害関係者へのインタビュー

▼Ms. Reba Paul（Bangladesh Water Partnership 事務局長）……10万円

①気候変動にともなうダッカにおける水資源環境影響への適応のために実現可能かつ必要な政策の調査

②望ましい適応策の実施という観点からの、現在の統合的水資源管理の制度設計、とりわけ、その意思決定システムの評価

▼Ms. Farhana Ahmed（環境地理情報サービスセンター研究員）……10万円

①気候変動にともなうダッカ大都市圏における水資源環境影響評価のシミュレーション

②実現可能性のある適応策（Bangladesh Water Partnershipのメンバーが探求したもの）の費用便益評価

7. その他

本研究会では、研究の成果を積極的に発信してまいります。その一環として、Asia Sceince（北京、2010年1月7日～13日）や水に関する国際会議（台湾、2010年2月）などの国際シンポジウムにて、研究報告を予定しております。